

マンモグラフィ検査

◆マンモグラフィ検査とは

乳房のX線撮影のことです。乳房全体をプラスチック板で圧迫し、薄く伸ばした状態で撮影します。この検査は微小な石灰化像を描出することに優れ、早期乳がんの診断に有効な検査です。

◆装置の紹介

当院ではX線を直接電気信号に変換できるフラットパネルディテクタ（FPD）を搭載した装置を使用しています。

少ない放射線量でも病変の微細な部分、微小な石灰化や腫瘍を認識することが可能であり、日本人の乳房に適した画像処理技術が搭載されています。



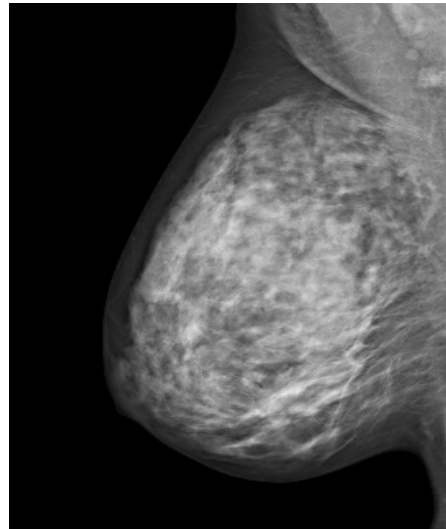
『MAMMOMAT Inspiration』

シーメンス社製

◆検査の種類

2D（CC、MLO）検査

左右の乳房をそれぞれ2方向CC（上から）とMLO（斜め）から撮影します。4枚の撮影に10分程度かかります。さらに詳しい情報を得るために追加撮影をすることもあります。



2D MLO

3D（トモシンセシス）検査

乳房を圧迫したまま、複数方向から撮影して薄い断面画像を一度に得ることができます。乳腺の重なりを軽減した画像を得ることで、乳腺内に隠れた病変を描出することができます。



3D（トモシンセシス）

画像：シーメンス社提供

◆検査について

検査にかかる時間はおよそ5分から20分程度です。ペースメーカーを入れている方、妊娠の可能性が高い方、豊胸術後の方はあらかじめ主治医および担当技師にご相談ください。

●圧迫の必要性

- ・放射線の量が抑えられます。
- ・体動や呼吸による動きを防止できます。
- ・乳房全体が均一に広がり鮮明な画像が得られます。
- ・乳腺の重なりが少なくなり病気が見つけやすくなります。

なお、我慢できないような痛みがある際は、担当技師にお申し出ください。